

足立区立千寿常東小学校
校長 加藤 敦彦 様

足立区立千寿常東小学校
開かれた学校づくり協議会

令和元年度 学校関係者評価書

1 自己評価書（学校経営計画・自己評価書）全般について

- ・ 今年度は、本協議会において、校長の学校経営計画の「自己評価書」および保護者アンケートのまとめを公開し、本校の現状と課題を視覚的に分かりやすく説明していただいた。4つの重点的な取組についての具体的な実施結果を数値化するとともに、児童・保護者・教員の視点から分析し、よさと課題を的確に把握していた。

【重点事項1ー学力向上】・・・◎

- ・ 学力向上については、個人差が大きく、日頃から多くの具体的な取組を行っていると感じている。国語・算数ともに前年度を上回り、日頃の成果が表れている。今後もこれまで同様、学校全体で取り組んでほしい。

【重点事項2ー約束を守り、思いやり、自分を大切に作る心の醸成】・・・○

- ・ 素直で優しい子供が多い。子供たちの挨拶の習慣化を図っている取組は素晴らしい。いじめについてはその捉え方が変わり、認知の数字には驚いたが、早期発見・早期対応に努めてほしい。また不登校や登校渋りが増加傾向にあるので保護者や関係機関と連携を密に図り学校復帰を目指してほしい。今後も様々な地域行事（町会・自治会、商店街、住区センター等の行事）を継続して実施し、地域に生きる子供たちを育ててほしい。

【重点事項3ー体力・耐性を育てる】・・・○

- ・ 子供は元気で、たくさん遊んでほしい。学校の方針には賛同する。運動会、持久走記録会のほか、日光や赤城での山登り体験など我慢する経験が今後の成長につながったようなので、今後も、継続して体力向上の取組に努め、耐性を育ててほしい。

【重点事項4ー異校種と連携した教育】・・・○

- ・ 地域にある学校として卒業生も多く、学校を中心としたコミュニティーを形作っている現状もある。今後も、地域の学校として近隣の保育園や中学校、大学と連携していくことは大いに望ましい。ただ私立の幼稚園との連携は難しいようだ。

2 学校から提示された「課題」や「保護者・地域への期待」について

- ・ 自尊感情が少しずつ上昇していることが素晴らしい。ただ学力や基本的な生活習慣の二極化があるということなので、地域も可能な限り、家庭への支援に努めるとともに、町会・自治会等の様々な行事を通して、人とのつながりを大切にしていきたい。

3 その他

- ・ 最後は開催できなかったが、毎回夜間でも先生たちが分担して出席し、児童や教育活動の状況を話してくれることが大変嬉しく励みとなるので、今後も継続してほしい。